107 東北地方での小容器に発生するヤブカ属の蚊 (3報)

栗原 毅 (帝京大医動物)・

The distribution of *Aedes albopictus* in northern Japan (3)

KURIHARA, Takeshi

1995年8月末の調査では、ヒトスジシマカ幼虫を、秋田県本庄市と宮城県古川市とで多数採集することができた。しかし秋田県横手市や山形県新庄市では発生を確認出来なかった。本庄市は東北地方日本海沿岸での、また古川市は太平洋側での恐らく最北での採集記録と考えられる。なお、本種は雄成虫でも、ヤマダシマカとは、(tergum Xの形態による以外にも)雌と同様にscutum翅基部にbroad scalesをもつことによる鑑別が可能と判断された。

108 グアテマラにおけるヒトスジシマカの発見

○緒方一喜 (日環セ)・Antonio L. Samayoa (Div. de Malaria, Ministerio de Salud Publica, Guatemala)

The invasion of *Aedes albopictus* to Guatemala

Ogata K. and Samayoa, A. L.

ヒトスジシマカを 1955年 6月22日にグアテマラ国のカリブ海に面するプエルトバリオス市の国際港サントトマス港周辺で発見した。これまでアメリカ大陸ではアメリカ・メキシコ・ブラジルに侵入・定着しているが 休眠性に由来すると考えられ低緯度への侵入報告がなかった。プエルトバリオス市内15箇所を調査し10箇所を幼虫・さなぎを発見した。主発生源は古タイヤ・空瓶・ドラム缶等で廃棄物に多かった。ネッタイシマカに比較してルーラルな地域に多い傾向が見られた。市外への分布の拡大を調べるために 首都のグアテマラ市への幹線道路 約 300km に沿って12箇所の集落・バンク修理屋等を調べたがネガティブであった。これまで他の国内19箇所についても調査を行なったがプエルトバリオス市以外では発見されていない。デング熱の激しい流行下にあって新たな問題を提起した。